

行って、住んで、考えて

2016年6月23日、英国はEU離脱の是非を問う国民投票を行い、賛成52%、反対48%でEU離脱が決まりました。EU離脱推進派のスローガンは「Take back control」。主権をEUに委ねるなということですね。また、ここでいう「control」には国境管理の意味合いもあり、移民数を減らせというメッセージも込められています。

私は2021年3月に渡英し、現在ロンドンに在住しています。しかし、ロンドンは世界屈指の国際都市。多様性が歓迎され、反移民感情を感じることはまずありません。ロンドンにいてもなぜEU離脱という選択をしたか理解できないのです。

これは日本にいても同じです。東京も世界有数の大都市、経済圏。そこで生活して得られる感覚は決して平均的日本のそれではないのです。

そのため、あえて住む場所、働く場所を変えてみるということが重要です。

遅ればせながら、私は現在、在英国日本国大使館で、英国内政の情報収集・分析を担当しています。これまでは、富山県・京都市と2回地方自治体に出向し、パリに留学しています。それなりに日本の地方自治・海外を経験した上で改めて英国の内政を眺めると、当然に共通点・相違点が浮き上がります。そしてその原因を掘り下げて考えてみる。

多様な経験を通じて自分の視野を広げ、思考を深めていく。そういう事に喜びを覚えられるのであれば、あなたにとって総務省は魅力的ではないかと思います。

挑戦と出会いの連続

～熊本での「プレイヤー」としての日々～

「誰がどこにいても自己実現できる社会を実現したい」

こうした想いを抱いて総務省の門を叩いて早9年。九州・熊本市にて財政課長を務めています。市町村の事務に加え、都道府県の事務・権限の一部を有する政令指定都市において、内政分野の課題の多くは、自らの仕事に直結してきます。国全体として重要政策は時々の情勢により変遷していきますが、どのような時代にあっても国民に行政サービスを提供するためには、その担い手である地方を支える行財政制度が最適化されている必要がある、と実感をしなが、地方の現場で行政を担う「プレイヤー」として、日々奮闘しています。

さて、「財政課」というと、一見無味乾燥とした仕事を連想されるかも知れませんが、私なりの理解では、予算編成を通じて「限りある資源を何に振り向けるか」という「公の投資」に係る判断する仕事です。

市民の期待は何か、熊本が持続的に発展していくためにはいま何が必要か、ということ徹底的に議論し、財政課という組織の力を引き出しながら市政の根幹たる予算編成等を行っています。

若輩にしてこうした立場をお預かりすることは、時に緊張感も覚えますが、組織を代表して市長や議会、マスコミ等を含めた庁内外の関係者と接する中で、自分自身の成長や、物事を進め着地させるためのプロセスを実感することもできています。

国と地方、制度と現場、抽象と具体…、この両方を行き来し、様々な人々と出会いながら、この国の在り方を考える、という生き方に充実感を覚えています。

いつか、このメッセージをご覧の皆様と、日本のため、地方のため、人々のため、ともに働くことができれば幸いです。



ウェールズ・カーディフ大学にて連合王国の意義を議論(筆者中央)

外務省在英国日本国大使館一等書記官

山川 弘峻

YAMAKAWA Hirotoshi

平成 21年 4月	総務省採用 同 自治行政局行政課
平成 21年 8月	富山県経営管理部市町村支援課
平成 22年 8月	同 知事政策局
平成 22年 11月	総務省政治資金適正化委員会事務局
平成 24年 7月	同 自治行政局住民制度課
平成 25年 7月	同 自治行政局住民制度課主査
平成 26年 4月	同 自治行政局地域政策課国際室主査
平成 27年 4月	同 自治行政局地域政策課国際室多文化共生推進係長
平成 27年 7月	仏国留学(パリ政治学院)
平成 29年 7月	内閣府公益認定等委員会事務局総務課課長補佐(法令担当)
平成 30年 7月	総務省自治大学校教授
平成 31年 4月	京都市総合企画局京都創生推進部長
令和 3年 3月	現職



熊本城に臨む自席より

熊本市財政局財務部財政課長

井上 卓磨

INOUE Takuma

平成 26年 4月	総務省採用 同 消防庁消防・救急課
平成 26年 8月	滋賀県総務部市町振興課
平成 27年 4月	同 総務部財政課
平成 27年 8月	内閣府政策統括官(経済社会システム担当)付 付参事官(市場システム担当)付 併任 内閣府本府規制改革推進室室員
平成 29年 4月	総務省自治財政局公営企業課準公営企業室
平成 30年 4月	同 自治財政局財政課
平成 30年 7月	同 自治財政局財政課主査
令和 2年 7月	熊本市政策局総合政策部政策企画課長
令和 4年 4月	現職



米州機構(OAS)にて、南北アメリカの国旗を背に

外務省在アメリカ合衆国日本国大使館一等書記官

駒崎 弘

KOMAZAKI Hiroshi

平成 19年 4月	総務省採用 同 自治税務局企画課
平成 19年 8月	茨城県総務部市町村課
平成 20年 4月	同 総務部財政課
平成 21年 4月	総務省人事・恩給局退職手当第一係
平成 23年 7月	国家公務員制度改革推進本部事務局主査
平成 25年 1月	内閣官房行政改革推進本部事務局局長
平成 25年 6月	総務省行政管理局副管理官
平成 27年 8月	内閣府情報公開・個人情報保護審査会事務局総務課課長補佐
平成 29年 7月	総務省大臣官房企画課サイバーセキュリティ・情報化推進室課長補佐 併任 大臣官房秘書課働き方改革推進室
平成 29年 8月	総務大臣政務官秘書官
平成 30年 10月	総務省自治行政局地域情報政策室課長補佐
令和 元年 7月	同 行政評価局政策評価課専門官
令和 2年 1月	同 行政管理局企画調整課課長補佐
令和 2年 7月	現職



薩摩川内市行政管理部スマートデジタル監

喜山 雄介

KIYAMA Yusuke

平成 25年 4月	総務省採用 同 行政評価局評価監視官付
平成 26年 5月	同 行政管理局管理官付
平成 26年 7月	内閣官房行政改革推進本部事務局局長
平成 27年 4月	内閣官房内閣人事局給与第一係
平成 28年 8月	同 内閣人事局任用第一係長
平成 30年 7月	内閣府地方分権改革推進室参事官補佐
令和 2年 7月	総務省大臣官房総務課管理室参事官補佐
令和 3年 7月	併任 大臣官房政策評価広報課課長補佐
令和 4年 7月	現職

世界政治の玄関から

COVID-19でロックダウン状態のワシントンDCに赴任したのは2020年夏。降り立ったNYの空港で不安を感じたのも束の間、自宅の玄関で近所の老夫婦から歓迎の印にトマトソースの入ったWelcome Basketを贈られて嬉しかったことを覚えています。今ではこの街も活気を取り戻していますが、その間、議事堂襲撃など米国の分断を目の当たりにし、米中対立やウクライナ侵攻に世界が揺れました。私は南北アメリカ外交と米国内政の情報分析を担当していますが、ワシントンは世界政治の中心であり、激動する国際情勢を肌で感じられます。

19世紀フランスの外交官は「米国社会を律する重大な政治的諸原理は州に生まれ、州に育った」と記しました。各州を訪れると、地域の自立した豊かさを実感しますし、米国が独自のデモクラシーを発展させ日本と異なる社会システムを形成し、それが国の統治の在り方から個々の政策まで影響を及ぼしていることが分かります。他方、結局は同じ「人」である以上、個人や組織の行動原理に日米で共通する部分があるのは興味深いところです。

私はこれまで、霞が関の人事制度改革、行政通則法制の見直し、自治体のデジタル・ガバメント、エビデンスに基づく政策立案など、我が国政府の経営課題と呼べるテーマに関わりました。行政官としての専門性を培いつつ幅広い経験を通じて幾つもの視点を持つことが、こうした省庁横断的な課題に携わる上でも重要であり、ひいては職業人生を彩りあるものにしてくれると思います。日本の屋台骨を良くしたいと想う皆さんが新たな扉を叩くことをBasket片手にお待ちしています。

地方のデジタル化に取り組む

私が赴任する薩摩川内市は、人口約9万6千人、面積は県内随一の約683km²を誇り、中心部を悠々と流れる川内川、緑豊かな山々や湖、地形の変化が織りなす絶景が美しい飴島などの多種多様な自然環境に恵まれた、魅力あふれる都市です。

私は、2022年7月にスマートデジタル監として着任し、市のDX推進の旗振り役として、行政サービス、医療、介護、子育て、防災、地域交通、経済対策などの多岐にわたる政策分野の課題解決にDXの観点から携わっています。日々の業務では、市役所職員や地域の関係者の問題意識に寄り添いながら、デジタル化という手段ありきの議論ではなく、ゼロベースで課題解決の方法を議論することを重視しながら取り組んでいます。国での業務経験を活かしたクリエイティブな能力の発揮が求められますが、とてもやりがいのある仕事だと感じています。

国においては、デジタル庁発足以降、急ピッチでデジタル改革が進められておりますが、市の現場で感じる住民や市役所職員の温度感とは、まだまだギャップがあるのが実情です。このギャップをどうやって埋めるかをまず考えなければならぬ市での勤務経験は、国の政策立案の現場でも欠かしてはならない重要な視点を培う機会を与えてくれていると感じています。

総務省はこうした貴重な経験ができる機会を豊富に与えてくれる職場です。皆様と一緒に様々な経験ができる日を楽しみにしています。